



発行:八幡市教育委員会 令和3年(2021年)11月19日
URL <http://www.city.yawata.kyoto.jp/>

第77号

おもな記事

- ◆八幡市GIGAスクール構想 1・2面
- ◆八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰 2面
- ◆教育に関する相談及び不登校に係る支援 2面
- ◆南ヶ丘教育集会所の取組 3面
- ◆やわたスポーツカーニバル2021 3面
- ◆各幼稚園(こども園)の取組 4面

多様な子供たちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された 学びや主体的・対話的で深い学びのために

G I G Aスクール構想とは、1人1台のP C端末と高速通信環境の整備をベースとして、Society5.0の時代を生きる多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる施策として、今年度4月より本格的に導入されております。G I G Aとは「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「全ての人にグローバルで革新的な入口を」という意味が込められています。

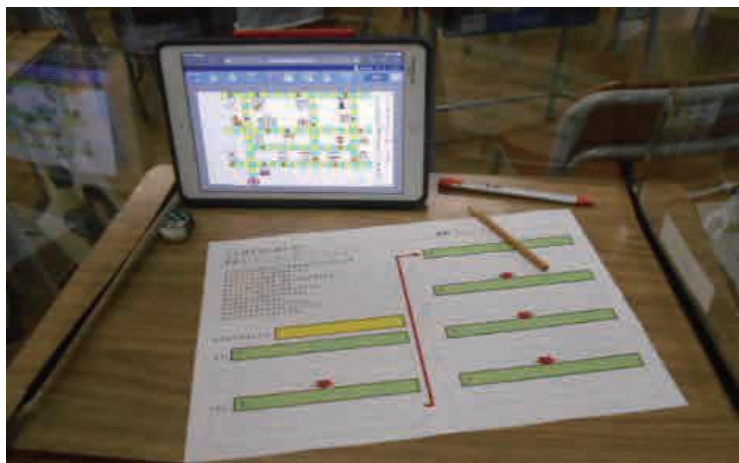
P C端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムで、今や、仕事でも家庭でも、あらゆる場所で、I C Tの活用が日常のものになっています。

実際にタブレット端末を利用した学習として、国語科では、授業支援ソフトを利用して、教師が個々のタブレットに送信した課題に対し、まずは個人で考えたことを友だち同士で共有し、さらにグループで考えを広げます。体育科では、タブレット端末のカメラ機能を利用して、マット運動やダンスの様子を撮影し、その映像を見て、グループで改善点を話し合います。またタブレット端末の個別学習ドリルを利用して、個々に合ったレベル・ペースで、漢字や計算の問題に取り組み、基礎・基本の定着を図ります。

このように教師が授業中でも児童生徒一人ひとりの反応を把握しながら学習を進めていく双方向型の「一斉学習」、児童生徒一人ひとりの考えをお互いにリアルタイムで共有し、子ども同士で双方向の意見交換をすることで、多様な意見に即時に触れられる「協働学習」、一人ひとりの教育的ニーズや学習状況に応じた「個別学習」が「1人1台の端末」の環境で可能となり、日常の学習活動が大きく変容しつつあります。

さらに災害や感染症等による学校の臨時休業など緊急時において、子どもたちの学びを保障できるための「オンライン学習システム」もI C T端末の活用で可能となり、そのための環境整備も進めており、学習活動がより充実することとなりました。

八幡市G I G Aスクール構想



南ヶ丘教育集会所の取組

南ヶ丘教育集会所は、八幡市内の学習支援活動の拠点として、様々な事業を行っています。

【学習支援事業】

児童・生徒の学力充実を図る取組や課題解決を目指した支援・助言を各学校と連携を取りながら行っています。また、保護者の方からの教育相談等も随時行っています。

自学自習や家庭学習の習慣化、基礎学力の定着、学習上の課題解決を目的に、宿題や各自の課題等に自学自習形式で取り組む学習会（小学生は平日の放課後から午後6時まで、中学生は平日の午後6時から8時まで）を行っています。学習指導には、教育指導員や、市内在住の大学生等の補助指導員があたっています。

また、小学6年生対象の英語入門講座や、検定合格を目標とした中学生対象の英検対策講座、漢検対策講座を行っています。

【やわた放課後学習クラブ】

児童の自主学習力と学習意欲の向上、基礎学力の向上、放課後の児童の居場所づくりを目的に、小学5・6年生を対象としたやわた放課後学習クラブ（毎週水曜日の放課後と土曜日の午前中）を市内全小学校で実施しています。自学自習形式で問題集や学習プリントに取り組み、漢字検定・数学検定を受検するためのチャレンジ学習を行っています。

（南ヶ丘教育集会所）



やわた放課後学習クラブの学習の様子

10/23
(土)

やわたスポーツカーニバル2021

令和3年10月23日（土）に八幡市民体育館において「やわたスポーツカーニバル2021」を開催いたしました。本事業は、オリンピック、パラリンピック大会の開催を契機とし、本市のスポーツ振興及び普及を目的に、市民のスポーツに親しむ機会の提供並びに市民相互の交流促進を目的とし、今年度よりスタートいたしました。第1回目となる今回は、元WBC日本代表の藤田宗一氏をお招きし、野球教室を実施していただき、他にも様々なスポーツの体験コーナーや競技団体の活動紹介等を来場者に楽しんでいただきました。事業当日は、手指や備品の消毒の徹底や、総合受付にて全ての来場者に検温及び体調確認シートの提出をお願いし、総合受付を済ませた証としてリストバンドを配布する等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りました。会場には、幅広い年齢層の方々、1069名にお越しいただき、各体験コーナーで集めることのできるスタンプカードを片手に思い思いのスポーツを見て、聞いて、体験していただくことができました。

（社会教育課）



藤田宗一氏による野球教室の様子

一方では、実際に情報や情報技術を活用する場面が増えることにより、情報モラルを意識する機会の増加が増え、「情報モラル教育」の学習の充実も図っていきます。タブレット端末の利用時間や目の健康面の配慮についても御家庭での御協力が必要です。

児童生徒自身が何が重要かを考え、必要な情報を精査し、他者と協働しながら解決に結び付けていくために、主体的にICTを活用する学習に取り組んでいきます。



(学校教育課)

八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰

令和3年11月3日(水・祝)八幡市文化センターにおいて、八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰式が行われ、小学生・中学生が対象となるジュニア賞では8人の児童生徒と、1団体が受賞されました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略・順不同)

〔文化賞・個人〕

▽原口 環(男山第三中・作文)

〔文化賞・団体〕

▽男山東中学校(小論文)

〔スポーツ賞・個人〕

▽和泉 晴大(くすのき小・卓球)

▽才田 恵梨香(男山第三中・柔道)

▽山根 悠希(男山第三中・陸上)

▽山神 祐葵(男山東中・陸上)

▽上田 愛子(男山第三中・水泳)

▽石野 芽生(男山第三中・水泳)

▽藤本 大貴(男山東中・水泳)

(社会教育課)



教育に関する相談及び不登校に係る支援

教育に関する相談

市内在住の幼・小・中学生とその保護者の相談に、専門の相談員及びカウンセラーが応じます。

不登校支援

教育支援教室「さつき」

個別・小集団での活動や学習を通して、社会性を培うとともに、自立を促し、学校生活への適応や社会的自立を図ります。市内の小・中学校に在籍する児童・生徒が対象です。

【問い合わせ】教育支援センター

電話：075-982-3001

所在地：八幡市男山笹谷2

時間：平日 午前9時～午後5時

寄贈

○株式会社A-frame様、株式会社Living Color様、里山装飾様から市内全小学校に入学した新一年生児童へ防犯ブザー(600個)

○株式会社滋賀銀行様から美濃山小学校へApple TV、HDMIケーブル(各10個)

○京都八幡ロータリークラブ様から市内小・中学校へ消毒用アルコール液(20ℓ入り41箱)を寄付していただきました。

ありがとうございました。(教育総務課)

令和3年度 幼稚園・こども園の取組

ジャガイモの収穫 【八幡幼稚園】

6月、園の畑でジャガイモ掘りをしました。茎の根本を引っ張ると黒く柔らかい土の中から面白いように転がって出てくるジャガイモに大喜びだった子どもたち。収穫したジャガイモは、個数を数えたり大きさ順に並べたり、どれが一番大きいかな？秤を使って比べ合う姿がとても楽しそうで、結構な量の持ち帰りにご家庭からは「美味しかったです」と、花丸コメントをいただきました。これからも、遊びや生活の中で、様々なことに心を動かし、楽しみながら学びに繋がる体験を重ねたいと思います。



栽培活動 【八幡第三幼稚園】



毎年、保育の中に栽培活動を取り入れ、先生や友達と共に楽しんでいます。昨年度の冬に、タマネギの苗やジャガイモの種芋を植え、水やりや草抜きなど世話をしながら、栽培物の変化していくことに気付き、発見したことを友達に伝え、収穫の日を楽しみにしていました。収穫日には、5歳児を中心に野菜を一列に並べ、数を数えたり、大きさや重さ比べをしたり、数への興味につながっていました。今後も、自然に触れる体験を大切にしていきたいと思います。

敬老の日のハガキ投函 【八幡第四幼稚園】

幼稚園では、毎年敬老の日に向けて園児が祖父母にハガキ（往復）を送っています。スタンプや絵など、各年齢でできることを表現します。完成したハガキは、園の近くのポストまで投函しに行きました。インターネットが普及する中、ハガキを送るというのはとても貴重な経験です。コロナ禍で、会う機会がほとんどない今、遠く離れた祖父母の方々は大変喜ばれているようです。返信ハガキが園に届き、子どもたちも大喜びでした。身の回りのいろいろな人への感謝の気持ちを大切にしたいと思います。



5歳児の共同制作 【橋本幼稚園】



絵本「11ぴきのねこ どろんこ」のイメージから、段ボールや廃材でジャブ（恐竜）の足・首・顔を、巧技台で体をつくりました。相談・振り返りなどの話し合いを繰り返し、自分たちで納得のいくジャブをつくりました。3・4歳児を遊びに誘ったり、イメージを膨らませて海賊と戦ったり、それぞれがジャブへの思いを込めて絵をかくことでお別れをするなど、豊かな感性と表現、言葉による伝え合い、協同性、思考力の芽生え等、様々な力が育ちつつある活動になりました。

ひまわり畑 【有都こども園】

有都こども園は八幡市の東部の田園地帯にあり、自然環境に恵まれた地域にあります。お茶摘み（5歳児）、いちご摘み（全園児）田植え（4・5歳児）、稲刈り（4・5歳児）、とんどさん等を地域の方々のお力を借りて体験しています。今年度は園近くの「おさぜん農園」の招待を受け、0～5歳児がヒマワリ畑へ行きました。園から少し歩くと一面に咲いているヒマワリ畑が見えます。大人の背より高いたくさんのヒマワリ畑の通路を歩くと「ヒマワリのトンネルみたい」「顔みたいに大きなあ」と子どもたちも大喜び。大きなヒマワリが大人気で一人1本ずつ切ってもらったヒマワリをお土産に園に帰ってきました。

